

ふゆ はなび ひがしにほんだいしんさい な ひと わす
冬の花火 東日本大震災で亡くなった人たちを忘れない

かほくしんぼう にほんご ねん がつこの か
河北新報 やさしい日本語ニュース 2022年2月9日

2011年3月11日に起きた東日本大震災では、地震や津波（地震のあとに急に来るとても大きな波）でたくさんの方が亡くなりました。仙台市若林区の東六郷小学校があった所は海の近くだったので、津波で126人が亡くなりました。それで、亡くなった人たちを忘れないように、毎年、小学校の近くで「鎮魂の花火」を上げています。今年で7回目です。2月5日、震災が起きる前はここに住んでいた人たちも来て、100人ぐらいが集まりました。そして、亡くなった人たちのことを思って、みんなです祈りました。

ごご じはん しょうがっこう かね かいな かね つなみ き
午後5時半に、小学校の鐘が11回鳴りました。この鐘は、津波が来ても残っていました。その後、75個の花火が夜の空に高く上がりました。冬の花火は、とても大きくてきれいに見えました。

ちんこん はなび
「鎮魂の花火」は、「わたしのふるさとプロジェクト」というグループがかんがえました。東六郷に住んでいる人たちのグループです。

だいひょう おおうちふみはる
代表の大内文春さん（49歳）は「今はここに住んでいない人たちも多
いですが、みんなが同じ場所で花火を見ると、昔を思い出すことができ
ます。震災を忘れてはいけません」と話していました。



「河北新報社提供」

☆やってみましょう

ぶんよんで、ただしいものに○、ただしくないものに×を書いてください。

- ① () しょうがっこうがあつたところは、じしんおおひとなで多くの人がかなくなりました。
- ② () ななくなつたひとをわすれられないように、はなびあをあげています。
- ③ () はなびみきに見に来た人たちは、ひがしろくごうすひとに住んでいる人たちだけです。
- ④ () ちんこんはなびかんがひと「鎮魂の花火」を考えた人たちは、みんなにしんさいわすれないとおもっています。

☆書きましょう

ひがしろくごうしょうがっこうところが、海の()だったので、()
で126人が()ました。それで、まいとしちんこんはなびを()
います。ひがしろくごう()いるひとたちが()ました。

☆話しましょう

1. 2011年3月11日に起きたひがしにほんだいしんさいのことを知っていますか。
2. このニュースをよんで、どうおもいましたか。